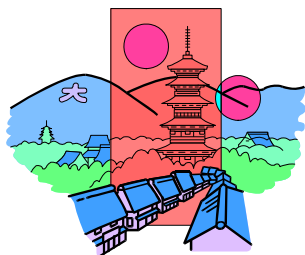


## ファミリービジネス コンファレンス京都



### おきなわFB短信 (21) (1分間で読めます。)

平成21年12月15日(火)

先週の12月11日(金)～12日(土)に立命館大学朱雀(しゅじゃく)キャンパスで、昨年のハウステンボスに引き続き、第3回ファミリービジネス コンファレンス in 京都があったので、八重山の宮平さん(ホテルミヤヒラ社長)と一緒に参加してきました。

「基調講演」では、千利休以来 約450年の茶の湯の伝統と文化を継承してこられた武者小路千家第14代家元 千宗守氏が「伝統」の正しい字は「伝燈」、火を守り、次の世代へ家業と技術を伝える、それは聖火のようなものという話をユーモアを交えて話された。

「ワークショップ」「パネルディスカッション」では、ファミリービジネスの経営者が、伝統と変化への対応、一人娘を軸にした後継者育成、トップへの権限集中、事業における兄弟の関係、番頭とのつきあい方、株の継承等を、今起きている生の話として真剣な討議に参加することができました。

京都は学校を卒業後40年以上も外に出ている。朱雀キャンパスの辺りは小学生の頃、国鉄や日通の操車場や市電の車庫(壬生車庫)の跡地の再開発で、大きく変化していました。(毎年、京都へは行っているのですが街並は変化なしとの感覚でした)

その変化に驚いて、短時間でしたが生まれた育った千本丸太町の周辺を見て回り、街並は大きな変化は無いのに、個々の家々の商売が大きく変わっているのに気がつきました。その中で、萬年堂(小さな書店)、八八家(親父の行きつけの飲み屋)、進進堂(小さな一軒のパン屋でしたが、タクシーの運転手さんの話では100以上の多店舗となっているとのことでした)が残っているのを見つけて少し安心しました。やはり、お店の名前が「萬年」とか「八八」とか「進進」とか、全部とても良いので残っているのかなあ、などと思いました。

時間があれば、小学校の区域の何百軒かについての変化を調べて見れば、面白いのではないかななどとも思いました。

おきなわFB短信は、土曜日と日曜日を除いて約1ヶ月経った今年の3月13日(金)第20回でStopしてしまいました。今後は週1回位で半年位を目標にゆっくり続けたいと思いますのでよろしくお願いします。